

災 害 の 概 況

(平成 26 年 上半期)



鳥 取 県 西 部 広 域 行 政 管 理 組 合
消 防 局

目 次

(ページ数)

災害概況のまとめ	1
I. 火災概況	2
1. 火災の状況	2
2. 火災原因	3
3. 死者・負傷者	3
別図 I - 1 火災件数の推移	3
別図 I - 2 火災種別ごとの件数の状況	3
別図 I - 3 月別の火災件数	4
別図 I - 4 市町村別火災件数の状況	4
II. 救急概況	5
1. 救急出動状況、救急搬送状況	5
2. 市町村別救急活動状況	5
3. 傷病程度別搬送状況	5
4. 年齢別搬送状況	5
5. 署所別救急活動状況	5
6. 月別救急活動状況	5
7. 現場到着所要時間、収容所要時間	5
8. 応急手当実施状況	5
9. 高度救命処置件数	5
10. 医師引継ぎ時の状況	5
別図 II - 1 事故種別救急出動状況	6
別図 II - 2 事故種別救急搬送状況	6
別図 II - 3 過去 5 年間の救急推移	7
別図 II - 4 市町村別救急活動状況	7
別図 II - 5 傷病程度別搬送状況	8
別図 II - 6 年齢別搬送状況	8
別図 II - 7 署所別救急活動状況	9
別図 II - 8 月別救急活動状況	9
別図 II - 9 現場到着所要時間	10
別図 II - 10 収容所要時間	10
別図 II - 11 応急手当実施状況	11
別図 II - 12 高度救命処置件数	11
別図 II - 13 医師引き継ぎ時の状況	11

Ⅲ．救助概況	12
1．事故種別救助出動状況	12
2．事故種別救助活動状況	12
3．事故種別救助人員状況	12
4．管轄別救助活動状況	12
5．市町村別救助活動状況	12
別図Ⅲ－ 1 事故種別救助出場状況	12
別図Ⅲ－ 2 事故種別救助活動状況	13
別図Ⅲ－ 3 事故種別救助人員状況	13
別図Ⅲ－ 4 管轄別救助活動状況	14
別図Ⅲ－ 5 市町村別救助活動状況	14
Ⅳ．１１９番着信状況	15
1．概況	15
2．月別の着信状況	15
3．電話種別による通報状況	15
4．携帯電話からの着信状況	15
5．時間帯別１１９番通報の着信状況	16
別図Ⅳ－ 1 １１９番着信件数	16
別図Ⅳ－ 2 月別１１９番着信状況	16
別図Ⅳ－ 3 電話種別による１１９番着信件数の推移	17
別図Ⅳ－ 4 電話種別による通報状況	17
別図Ⅳ－ 5 携帯電話からの着信状況	18
別図Ⅳ－ 6 携帯電話の消防機関別転送状況	18
別図Ⅳ－ 7 時間帯別着信状況	18

災害概況のまとめ

(平成26年1月から同年6月まで)

I 火災概況

本年上半期の火災件数は74件で、前年に比べ18件減少しました。

これは、建物火災(5件)、林野火災(8件)、その他火災(枯れ草火災などの火災)(1件)、船舶火災(2件)、車両火災(2件)が減少したことによるものです。

また、火災による建物の損害程度のうち「全焼」の件数は前年に比べ13%減少し、「半焼」・「部分焼」については、ほぼ昨年並みです。「ぼや」は39%の減少となっています。

損害額は、焼損面積の増加と建物火災1件あたりの焼損棟数の増加により、前年に比べ74%の増加となっています。

火災原因については、「火入れ」が17件と最も多く、次いで「たばこ」が9件、「たき火」が8件、となっています。

火災による死者は発生していません。

負傷者は、前年に比べ半減し5人となり、全員が初期消火の際に負傷されています。負傷者は65歳以上の高齢者の割合が6割と高く、今後の高齢化の進展とともに、さらに増加していく恐れがあります。

全ての家庭に住宅用火災警報器の設置が義務化され、その奏功例が増えています。死傷者の発生を防止する為にも、引き続き設置対策及び適正な維持管理を含めた広報活動と防災製品の普及活動などの住宅防火対策の推進が重要と考えます。

II 救急概況

救急出動件数は4,898件で前年上半期に比べ47件、救急搬送人員は4,525人で4人の増加となっています。

事故種別で見ますと、急病が半数以上を占め、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

年齢別で見ますと、65歳以上の高齢者が搬送される割合が年々増加しています。今後、少子高齢化に伴い更に高齢者が占める割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対しての応急手当の割合が増加しています。救急現場での早期の応急手当が救命のチャンスを拡大します。

III 救助概況

救助出動件数は95件で前年上半期に比べ23件の増加、救助活動件数は62件で前年に比べ18件増加しています。

救助人員は49人で前年に比べ18人増加し、事故種別で見ますと、交通事故が最も多く15名となっています。

全国的に風水害、地震、列車事故などの災害規模が大規模化することに伴い、県内や県外の消防、医療、防災機関、行政などの迅速な連携活動が必要不可欠となっています。

IV 119番着信状況

119番の総着信件数は6,617件で昨年上半期より13件少なくなっています。事故種別ごとに着信件数を見ますと、火災通報147件で6件減、救急通報4,722件で17件増、救助通報27件で2件減、警戒通報は41件で4件減、問合せ404件で121件減、間違い348件で19件増、悪戯54件で3件増、訓練等874件で77件増でした。総着信件数から問合わせ、間違い、悪戯、訓練等を除く災害通報は4,937件で昨年上半期に比べると9件増でした。

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定電話2,827件で131件減、IP電話1,667件61件増、携帯電話2,123件で57件増でした。総着信件数の内携帯電話による通報が占める割合は約32%ですが、火災、救助、警戒といった屋外で発生または発見される災害での携帯電話による通報はそれぞれ60%以上を占めており、統合型発信地システムを活用して、発信位置の正確な情報を取得するよう努めています。

I 火災概況

(平成26年上半期 1月～6月)

1 火災の状況

(1) 火災件数

平成26年上半期の火災件数は74件で、前年上半期に比べ18件(20%)少なくなっています。

年 別	22年	23年	24年	25年	26年
火災件数	41件	58件	58件	92件	74件

(別図I-1参照)

(2) 火災種別

種別の構成比率をみますと、その他火災(枯れ草火災など)が39件(53%)と最も高い比率を占め、次いで、建物火災が32件(43%)、車両火災2件(3%)、林野火災が1件(1%)と続いています。

前年に比べその他火災は増減なく、建物火災は5件少なくなっています。

(別図I-2参照)

(3) 月別

月別の火災件数をみますと、4月が24件(32%)で最も多く、次いで3月と5月の13件(18%)となっています。その他の月は各8件となっています。

火災種別ごとの状況は、建物火災は1月・4月が最も多く8件(25%)、次いで5月に7件(22%)発生しています。その他火災については、4月が15件と最も多く発生しています。

(別図I-3参照)

(4) 市町村別

市町村別の火災件数をみますと、市部(米子市、境港市)で38件と全体の51%を占めています。また、今年については全ての市町村で火災が発生しています。

(別図I-4参照)

(5) 損害額

損害額は、約12,260万円で、前年比74%の増加となっています。

火災種別ごとの損害額は、建物火災が全体の99.9%を占めています。

月別の損害額は、1月(約6,481万円)が最も多く全体の53%となっています。次いで3月(約3,234万円)の20%となっています。

2 火災の原因

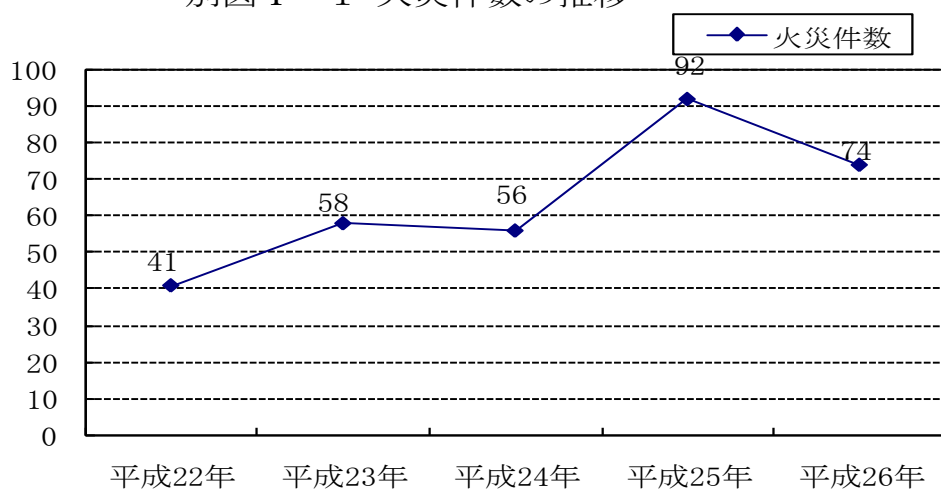
原因別では「その他」9件「不明・調査中」13件を除くと、「火入れ」が17件（23%）で最も多く、次いで「たばこ」が9件（12%）、「たき火」が8件（11%）となっています。

3 死者・負傷者

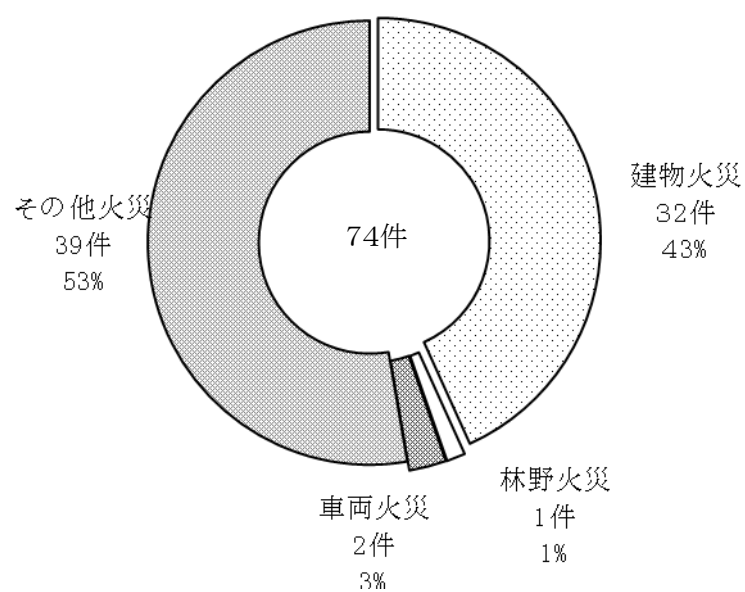
死者は前年同期3人でしたが、今年は発生していません。

また負傷者は前年より半減し5人となっています。

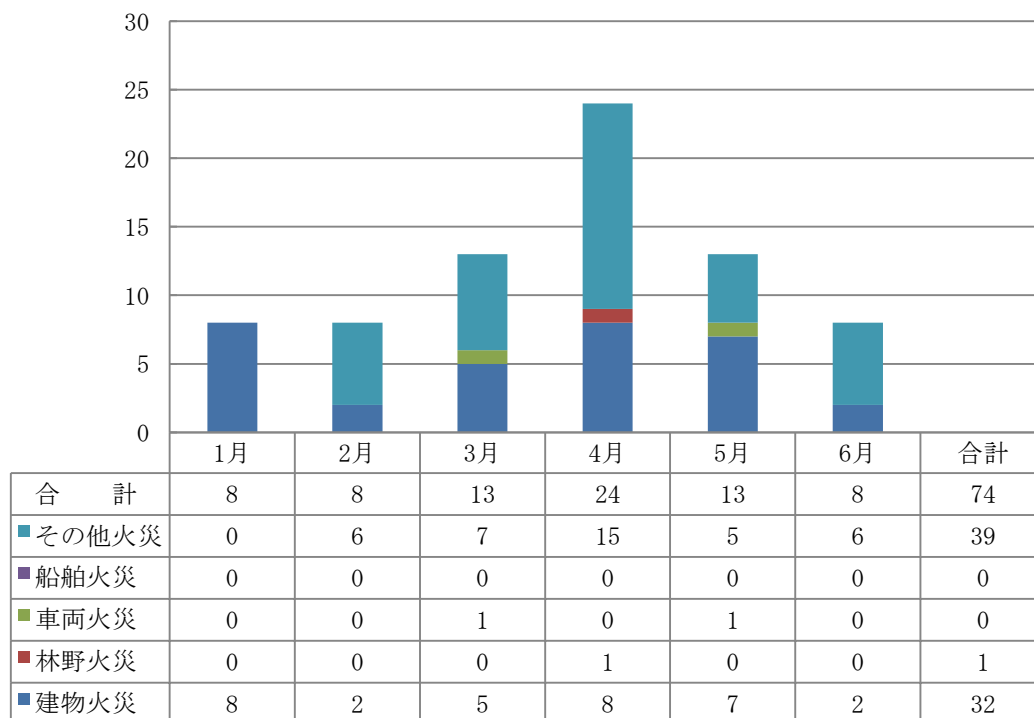
別図 I - 1 火災件数の推移



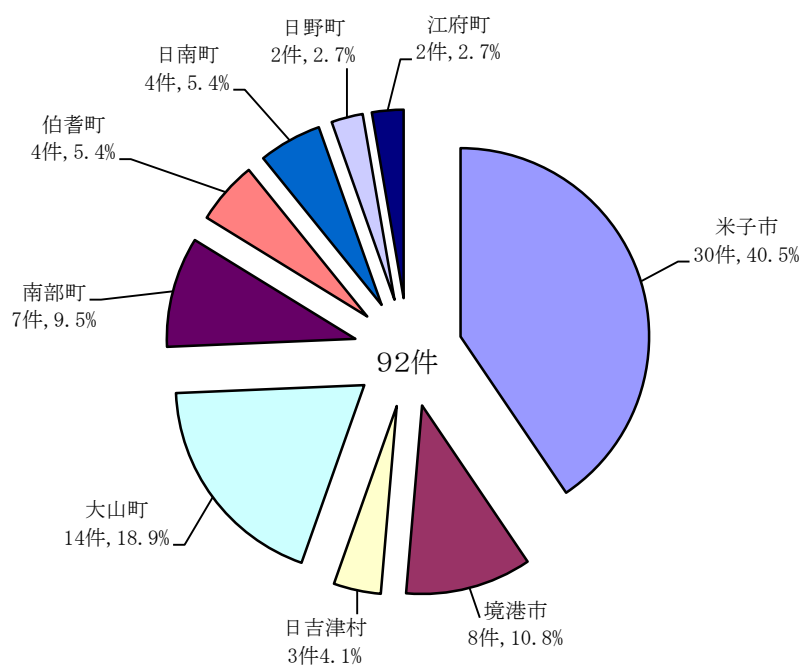
別図 I - 2 火災種別ごとの件数の状況



別図Ⅰ－３ 月別の火災件数



別図Ⅰ－４ 市町村別火災件数の状況



Ⅱ 救急概況

(平成26年上半期 1月～6月)

1 救急出動状況、救急搬送状況

平成26年上半期の救急出動件数及び救急搬送人員は、それぞれ4,898件、4,525人であり、前年同期と比べて救急出動件数は47件(1.0%)、救急搬送人員は4人(0.1%)の増加となりました。(別図Ⅱ-1,Ⅱ-2,Ⅱ-3参照)

2 市町村別救急活動状況

市町村別では、米子市の救急出動件数及び救急搬送人員がそれぞれ2,928件(59.8%)、2,683人(59.3%)と約6割を占めています。(別図Ⅱ-4参照)

3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員を見ると、中等症が2,258人(49.9%)で最も多く、次いで軽症が1,649人(36.4%)、重症543人(12.0%)、死亡72人(1.6%)となっています。(別図Ⅱ-5参照)

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員のうち、65歳以上の高齢者は2,757人(60.9%)で搬送人員の6割を占めています。(別図Ⅱ-6参照)

5 署所別救急活動状況

署所別の救急出動件数、救急搬送人員ともに米子市を管轄する米子消防署(1,695件、1,521人)、皆生出張所(863件、811人)で半数以上を占めています。(別図Ⅱ-7参照)

6 月別救急活動状況

月別の救急出動件数を見ると、1月の885件(18.1%)が最も多く、次いで3月、5月となっています。(別図Ⅱ-8参照)

7 現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は7分36秒、平均収容所要時間は35分54秒であり、前年同期と比べて平均現場到着所要時間は6秒短縮し、平均収容所要時間も1分3秒短縮となりました。(別図Ⅱ-9,Ⅱ-10参照)

8 応急手当実施状況

家族等により応急手当が実施された件数は、50.8%となりました。

(別図Ⅱ-11参照)

9 高度救命処置件数

気管挿管、薬剤投与が行なえる認定救急救命士の増加により、処置件数も増加しています。

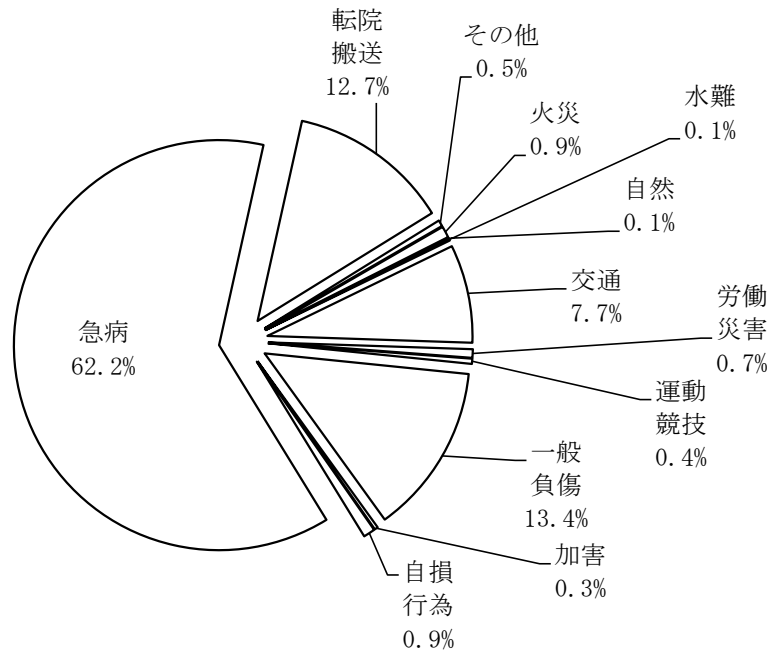
(別図Ⅱ-12参照)

10 医師引継ぎ時の状況

心肺停止傷病者を救急車で搬送中に5人の方が回復しています。

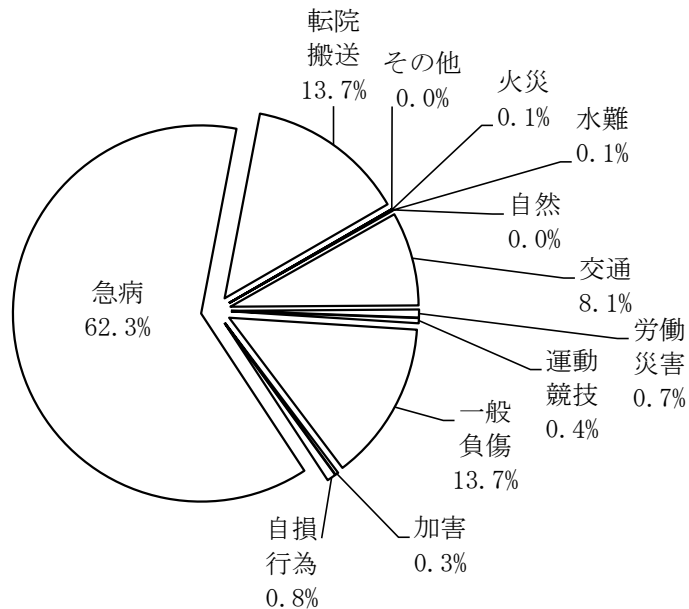
(別図Ⅱ-13参照)

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出場件数	44	4	7	379	33	20	658	13	45	3,049	622	24	4,898

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況

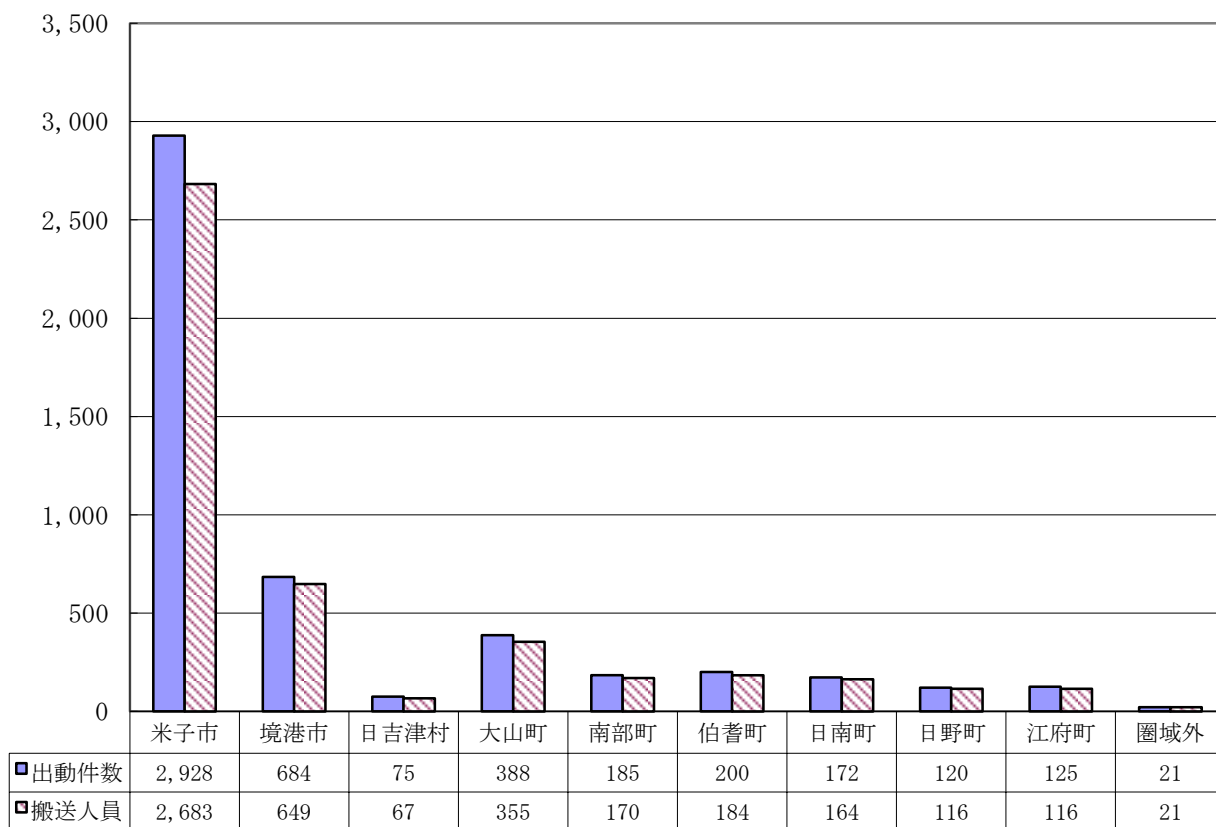


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	3	0	4	365	31	20	620	12	35	2,817	618	0	4,525

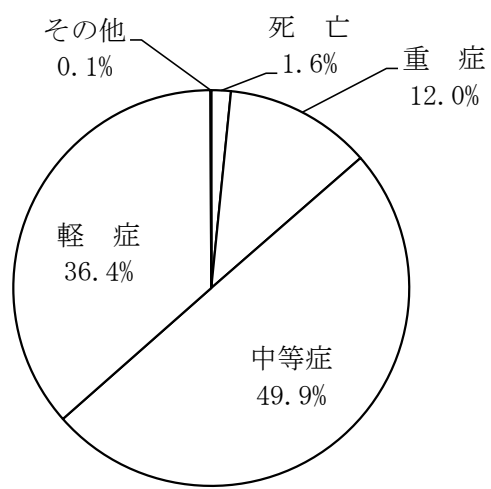
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

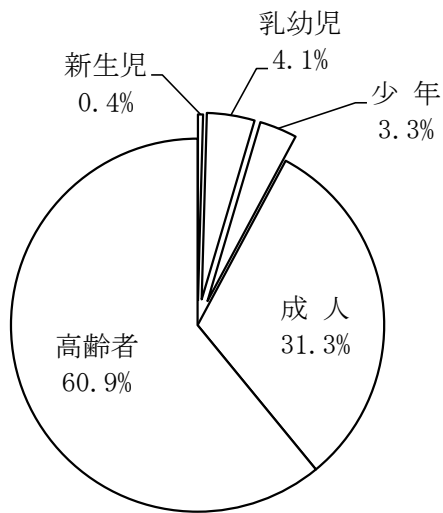


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



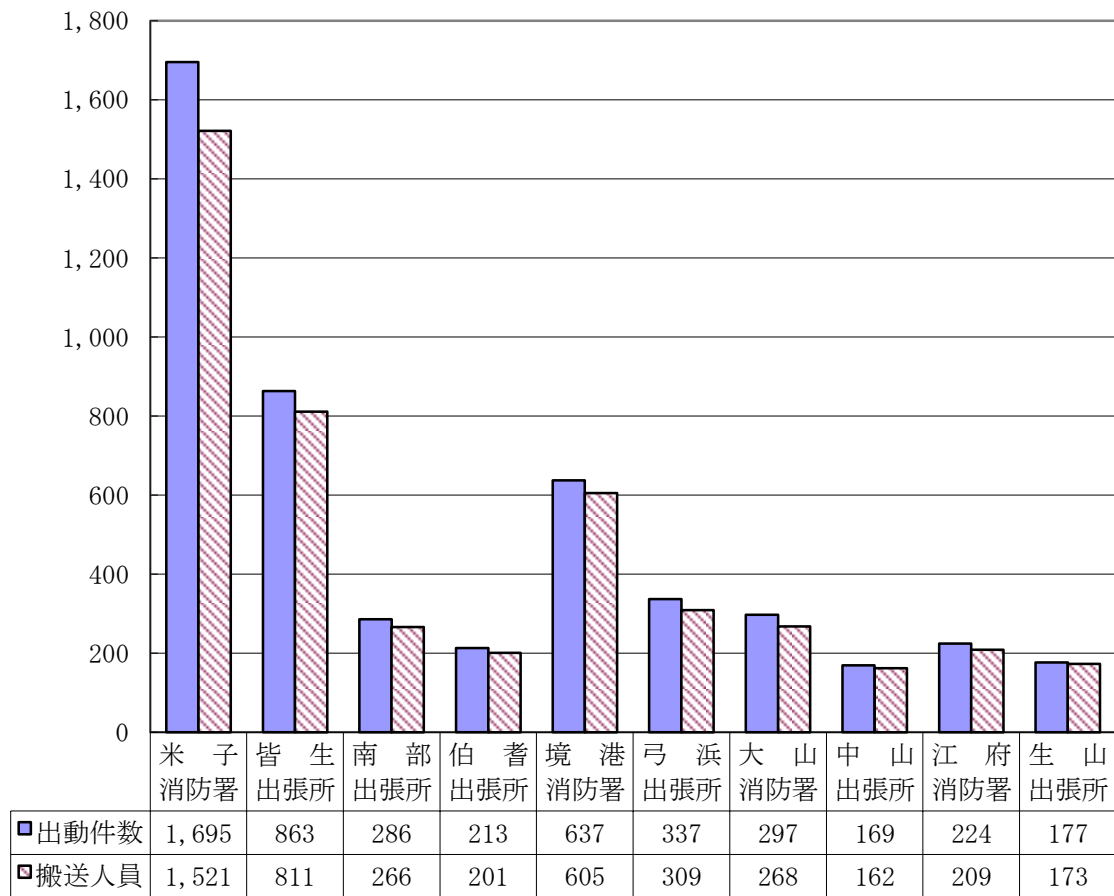
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	72	543	2,258	1,649	3	4,525

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

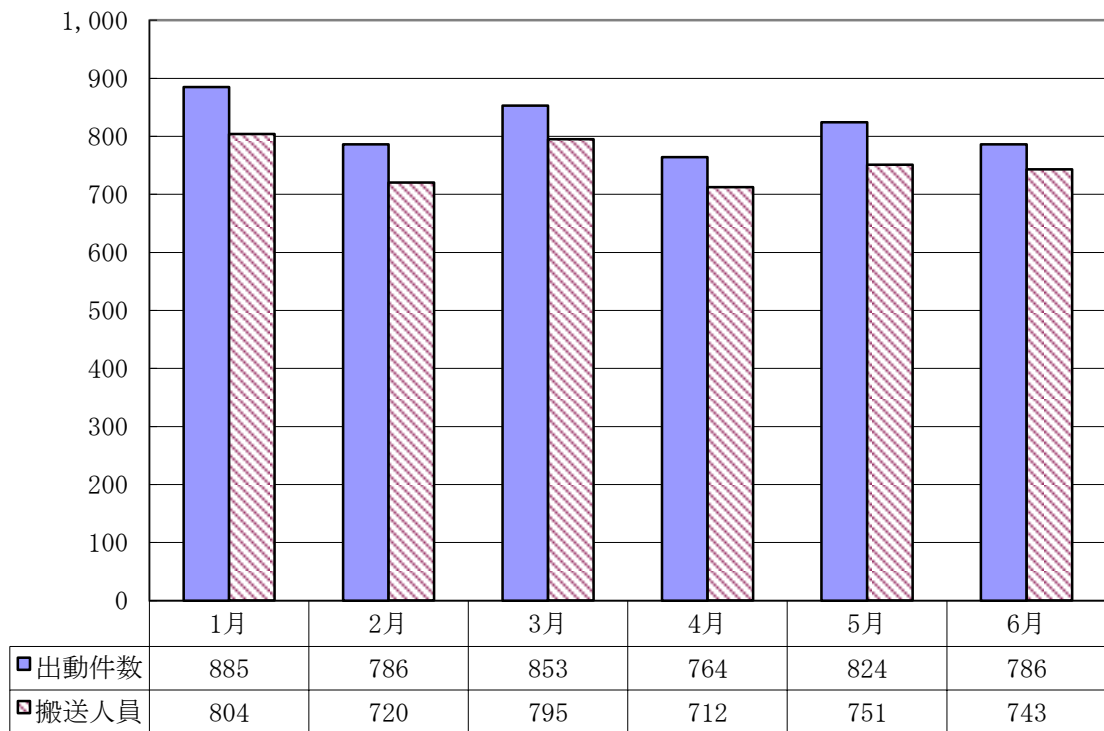


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	20	187	147	1,414	2,757	4,525

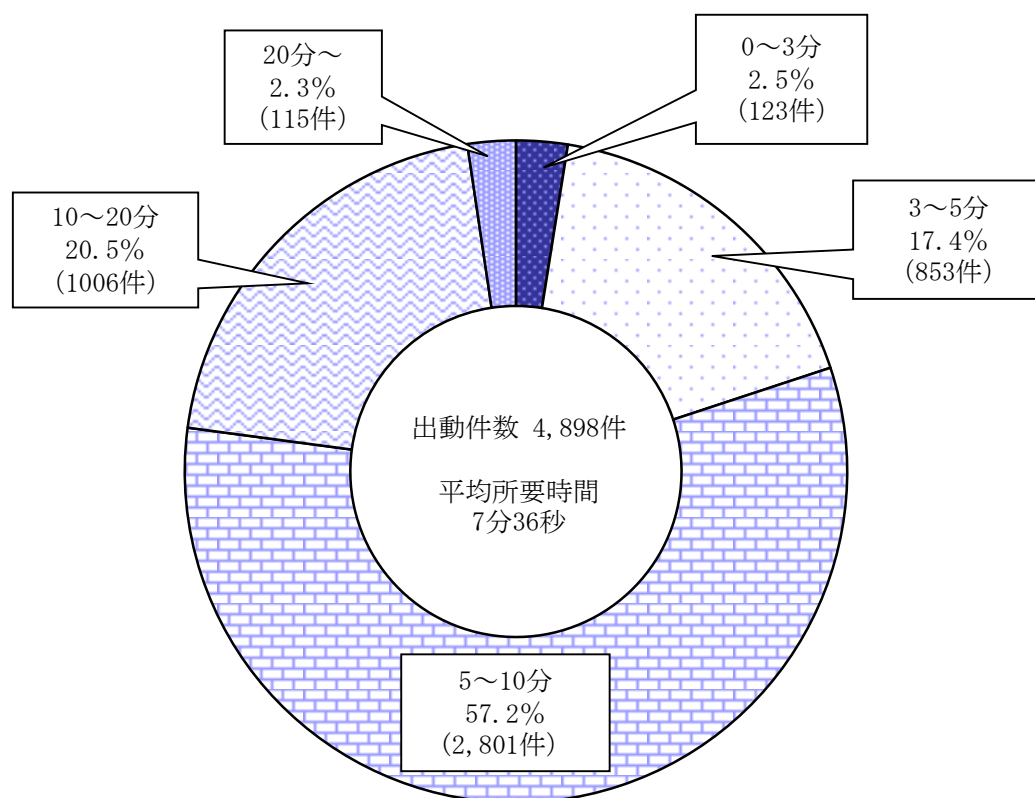
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



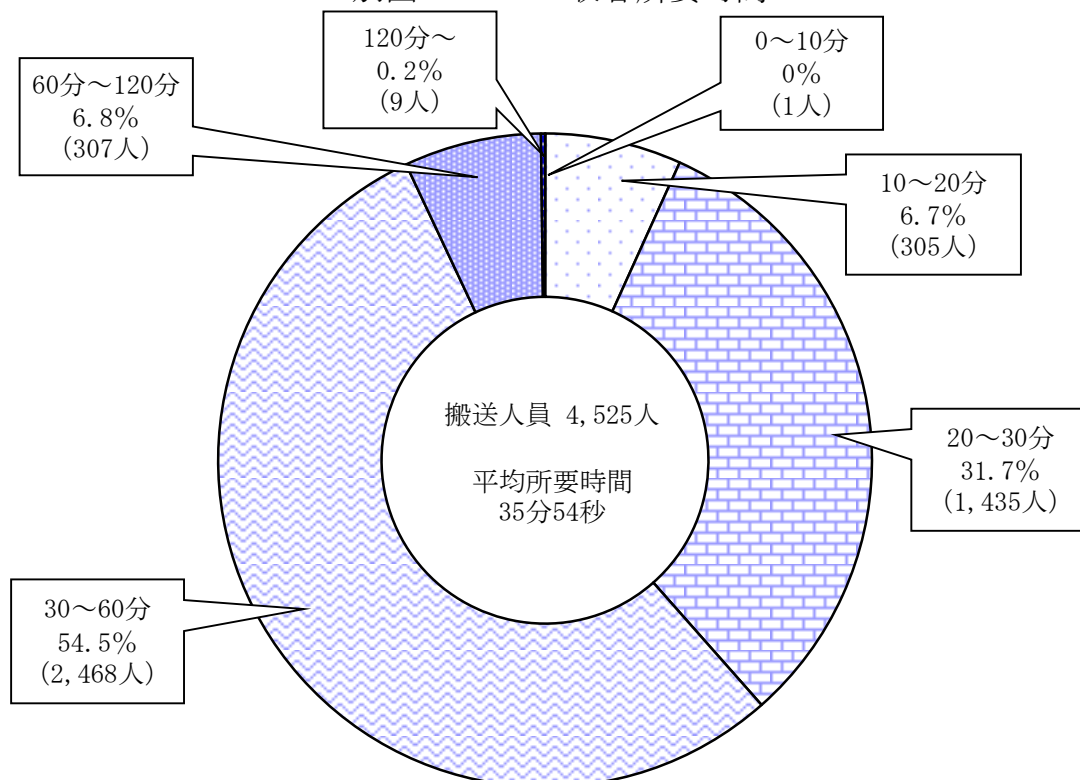
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



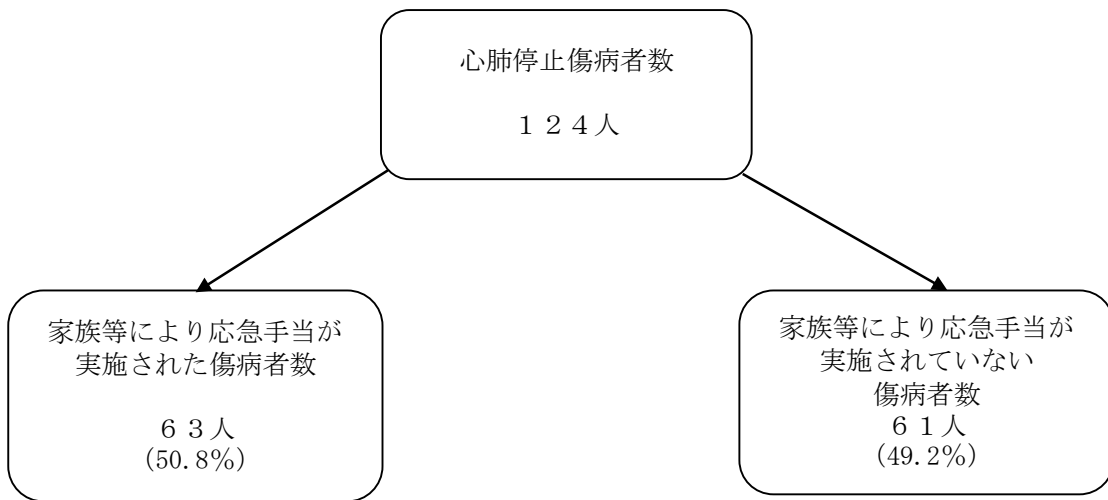
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



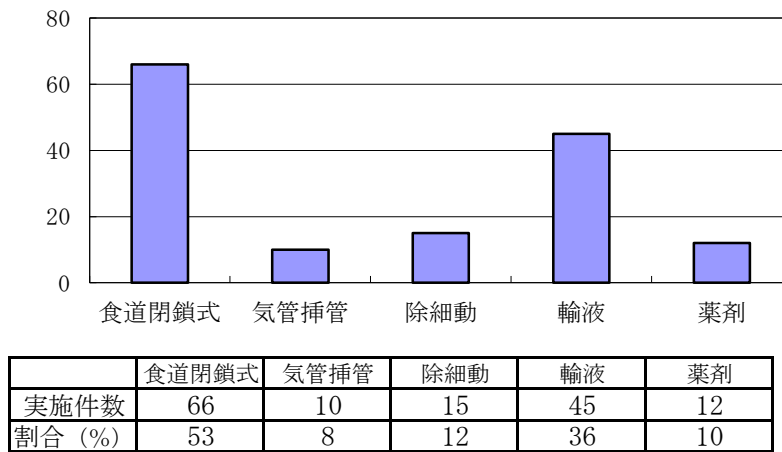
別図Ⅱ-10 収容所要時間



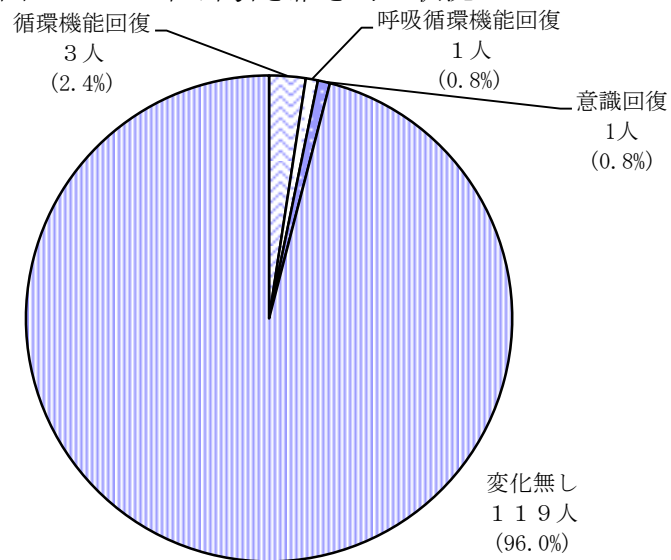
別図Ⅱ-1 1 応急手当実施状況



別図Ⅱ-1 2 高度救命処置件数



別図Ⅱ-1 3 医師引き継ぎ時の状況



Ⅲ 救助概況

(平成26年上半期 1月～6月)

1 事故種別救助出動状況

平成26年上半期の救助出場件数は95件あり、そのうち交通事故が51件(53.7%)と最も多く、火災が20件(21.1%)、水難事故が4件(4.2%)、建物事故が3件(3.2%)、風水害が2件(2.1%)、機械事故が1件(1.1%)その他の事故が14件(14.7%)となっています。(別図Ⅲ-1参照)

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は62件あり、そのうち交通事故が30件(34.1%)と最も多く、火災が20件(29.6%)、水難事故2件(4.5%)、建物事故が2件(4.5%)、風水害が1件(1.6%)、その他の事故が7件(27.3%)、となっています。(別図Ⅲ-2参照)

3 事故種別救助人員状況

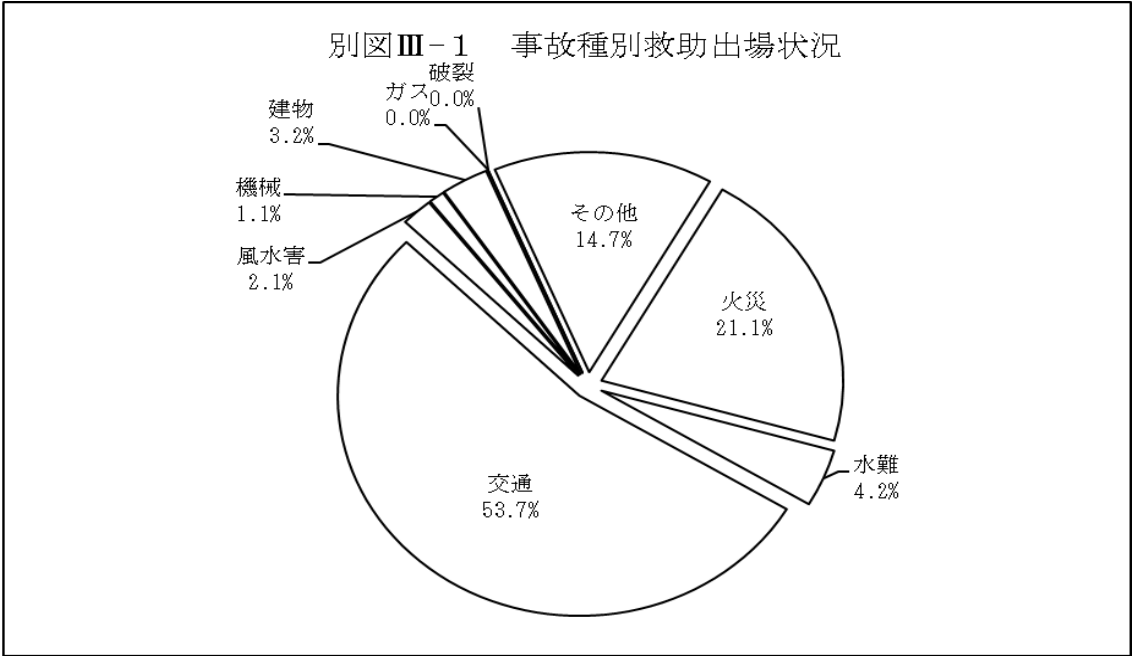
救助された人員は49人あり、そのうち交通事故が32人(65.3%)と最も多く、火災が1人(2.0%)、建物事故が2人(4.1%)、水難事故が2人(4.1%)、風水害が2人(4.1%)、その他の事故が10人(20.4%)となっています。(別図Ⅲ-3参照)

4 管轄別救助活動状況

事故が発生した場所を消防署の管轄別で比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員とも米子消防署が最も多く、次いで江府、大山、境港消防署の順となっています。(別図Ⅲ-4参照)

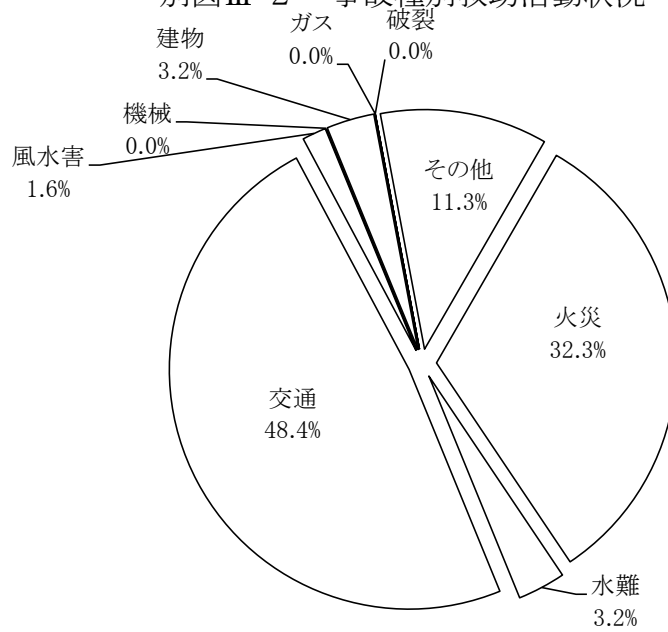
5 市町村別救助活動状況

事故が発生した場所を市町村別で比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く、次いで大山町、日南町、南部町、伯耆町の順となっています。(別図Ⅲ-5参照)



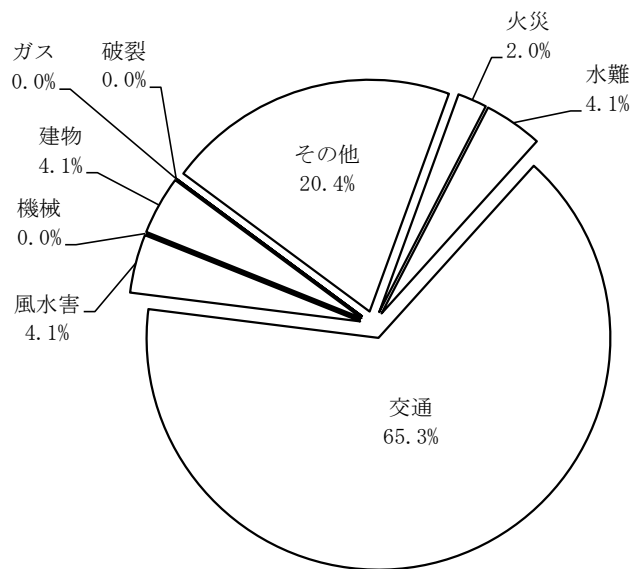
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	20	4	51	2	1	3	0	0	14	95

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



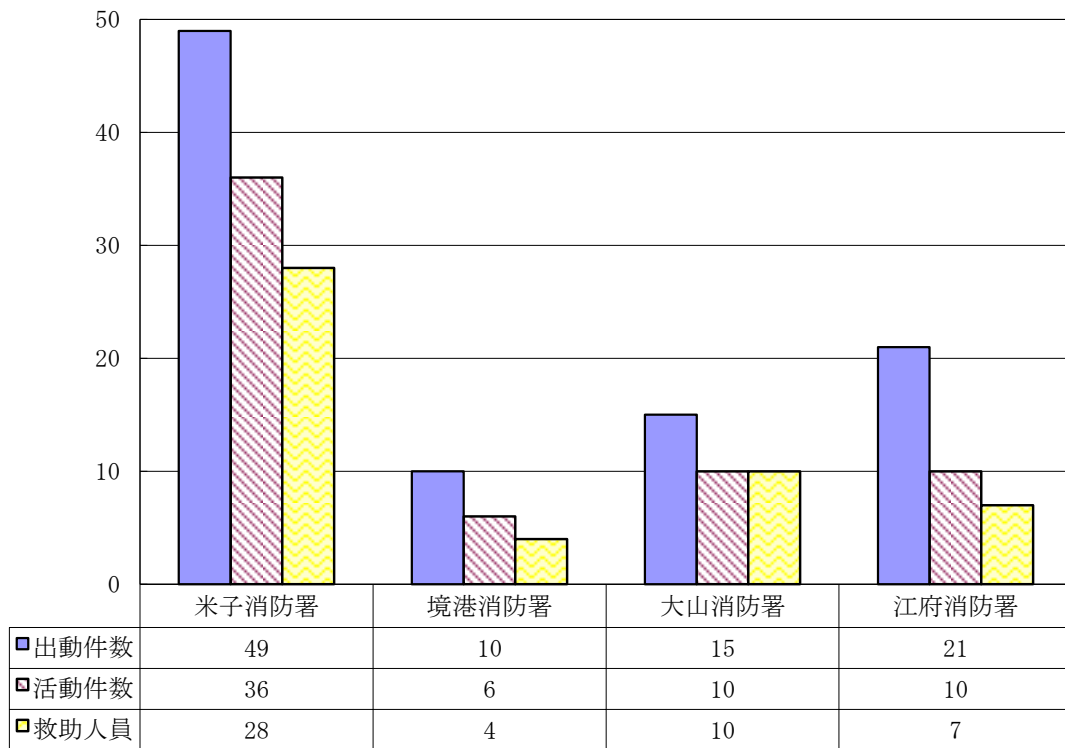
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	20	2	30	1	0	2	0	0	7	62

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

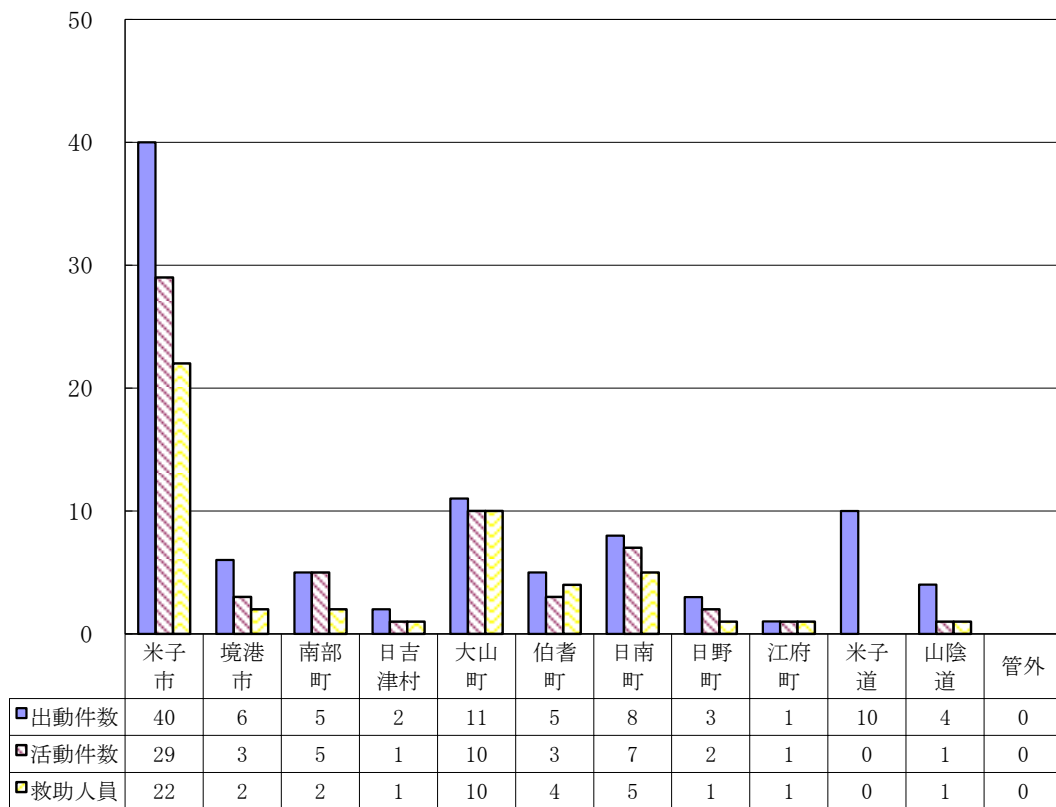


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	1	2	32	2	0	2	0	0	10	49

別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



IV 119番着信状況

(平成26年1月～6月)

1 概況

平成26年上半期の119番通報は、総着信件数6,617件で昨年上半期より13件少なくなっています。1ヶ月平均にすると約1,102件、1日平均では約36件の着信となります。通報内容としては、救急が最も多く4,722件(71.4%)でした。火災は147件(2.2%)で、そのほかの通報としては、救助27件(0.4%)、警戒41件(0.6%)、間違い348件(5.2%)、通報訓練等874件(13.2%)、休日・夜間などの病院に関する問い合わせ等404件(6.1%)となっており、悪戯と思われるものが54件(0.8%)でした。(別図IV-1参照)

2 月別の着信状況

月別での着信件数の最も多かったのは3月の1,238件、逆に最も少なかったのは2月の1,018件でした。救急通報では、最も多かったのは1月の836件、逆に最も少なかったのは4月の727件で、月平均787件でした。火災通報では、最も多かったのは4月の46件、逆に最も少なかったのは2月の7件で、月平均約24.5件でした。(別図IV-2参照)

3 電話種別による通報状況

災害別の通報状況として、固定電話(IP電話含む)と携帯電話の比率では、救助、火災、警戒が救急に比べ携帯電話の比率が高くなっています。また、近年、固定電話のIP化が進み、IP電話による通報が増加傾向にあります。屋外で発生する交通事故や火災、たき火といった多くの人の目につきやすいものと、急病など屋内で発生することが多い救急との電話種別の違いが現れています。(別図IV-3, IV-4参照)

4 携帯電話からの着信状況

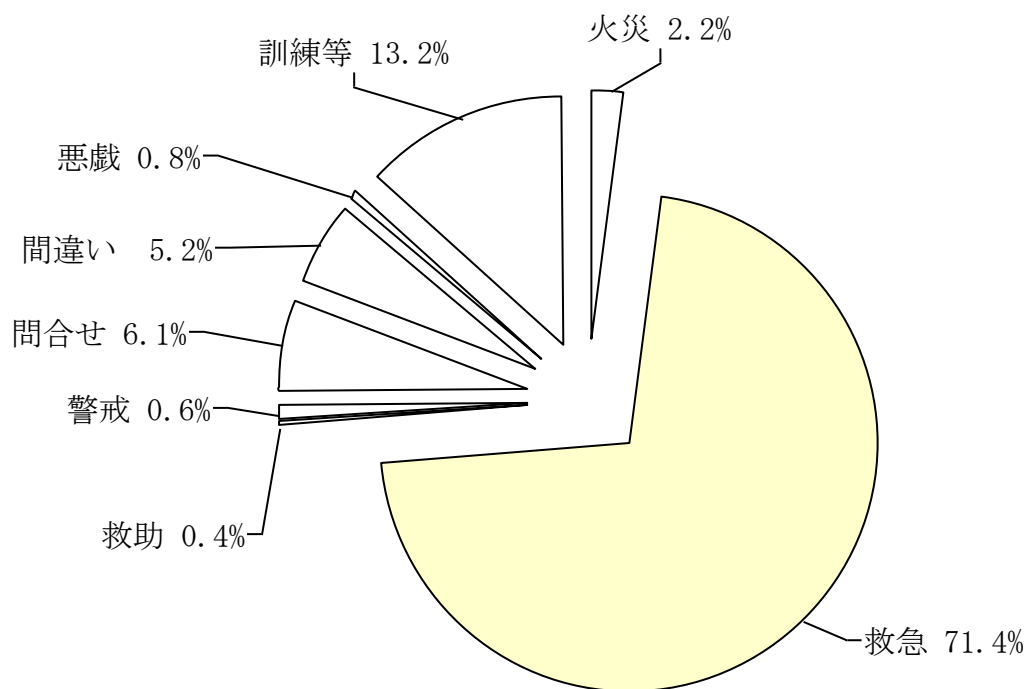
携帯電話からの119番通報は2,123件で、全着信件数の約32%でした。携帯電話で119番通報されますと、その場所により必ずしも、電話をされた地区を管轄する消防本部に接続されるとは限りません。管轄地区以外の通報が着信した場合には、その地区を管轄する消防本部に対し電話を転送し対応しています。これを携帯電話の消防機関別転送処理状況として、別表IV-6に表しています。上半期の他の消防機関との転送処理件数は26件でした。(別図IV-3, IV-4, IV-5, IV-6参照)

5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別119番通報の着信件数は、活動時間帯(午前8時～午後9時)に大半を占めており、睡眠時間帯(午後10時～午前6時)では午前5時まで時間の経過とともに件数が少なくなっています。(別図IV-1参照)

別図Ⅳ－１ １１９番着信件数

火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
147	4,722	27	41	404	348	54	874	6,617

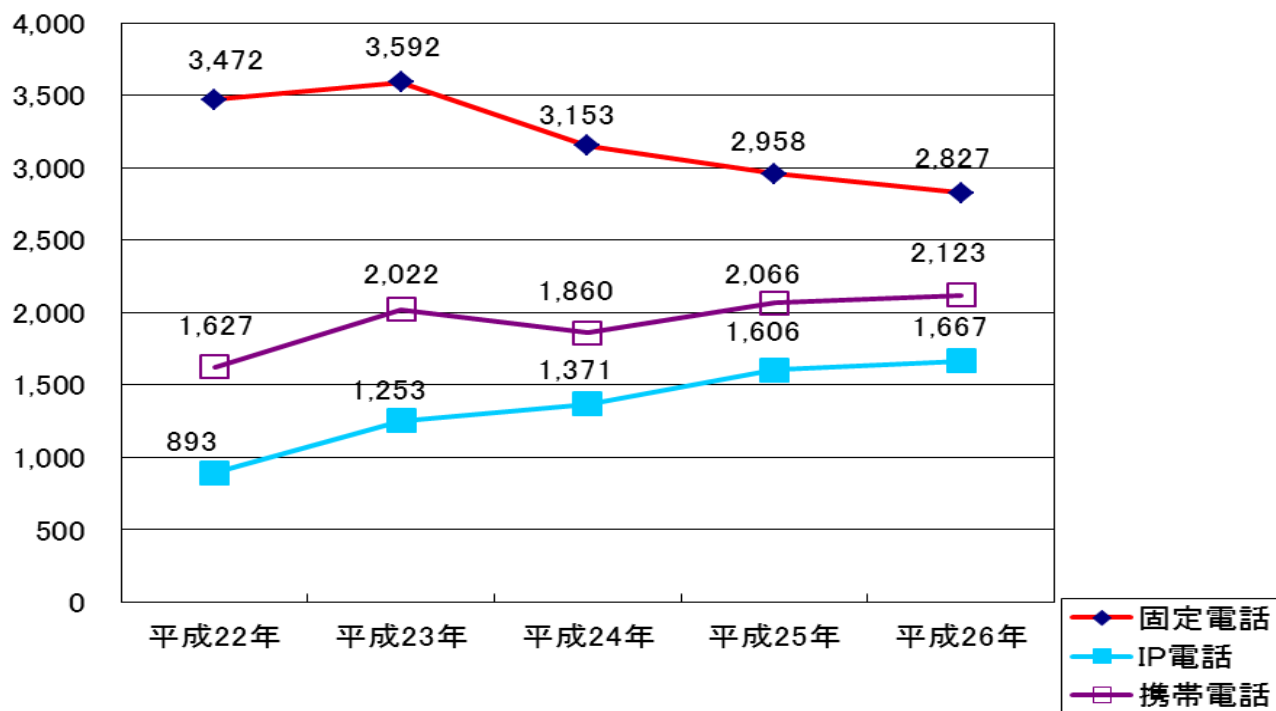


別図Ⅳ－２ 月別１１９番着信状況

	火災	救急	救助	警戒等	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	27	836	4	7	73	65	4	102	1,118
2月	7	766	4	9	62	51	8	111	1,018
3月	33	827	6	6	85	59	21	201	1,238
4月	46	727	2	9	62	68	11	123	1,048
5月	23	801	4	5	80	63	5	153	1,134
6月	11	765	7	5	42	42	5	184	1,061
合計	147	4,722	27	41	404	348	54	874	6,617
月平均	24.5	787.0	4.5	6.8	67.3	58.0	9.0	145.7	1,102.8

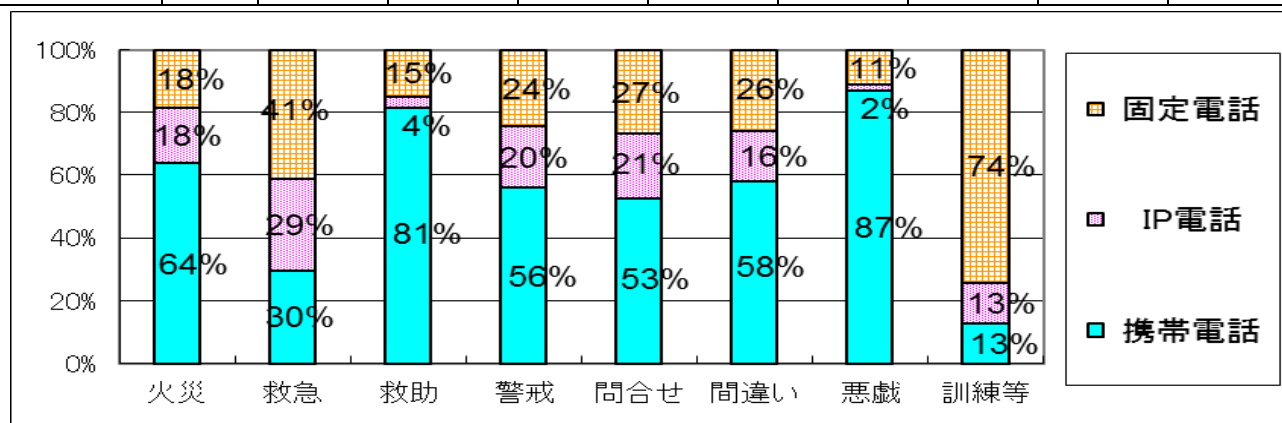
別図Ⅳ－３ 電話種別による１１９番着信件数の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
固定電話	3,472	3,592	3,153	2,958	2,827
IP 電話	893	1,253	1,371	1,606	1,667
携帯電話	1,627	2,022	1,860	2,066	2,123
合計	5,992	6,867	6,384	6,630	6,617



別図Ⅳ－４ 電話種別による通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定電話	27	1,934	4	10	108	90	6	648	2,827
IP 電話	26	1,380	1	8	83	56	1	112	1,667
携帯電話	94	1,408	22	23	213	202	47	114	2,123
合計	147	4,722	27	41	404	348	54	874	6,617



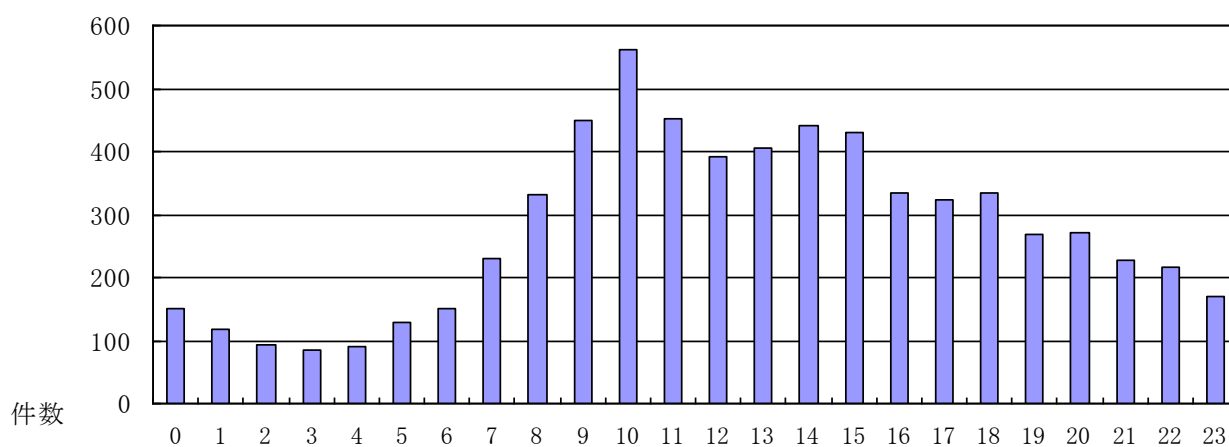
別図Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に転送をした件数
直接通報を受けた件数	他の消防機関から転送受信した件数	総着信件数	
2,104	19	2,123	26

別図Ⅳ－６ 携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計	消防	火災	救急	その他	合計
松 江	0	7	0	7	松 江	0	12	0	12
安 来	1	4	0	5	安 来	0	8	1	9
雲 南	0	2	0	2	雲 南	0	0	0	0
東 部	0	0	0	0	東 部	0	0	0	0
中 部	1	2	1	4	中 部	0	3	0	3
新 見	0	1	0	1	新 見	0	2	0	2
美 作 地 区	0	0	0	0	美 作 地 区	0	0	0	0
備 北	0	0	0	0	備 北	0	0	0	0
合 計	2	16	1	19	合 計	0	25	1	26

別図Ⅳ－７ 時間帯別着信状況



もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

平成26年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市皆生五丁目8番5号	683-0003	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3136	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救助…………… 警防課消防第一係	0859-35-1959
救急…………… 警防課救急室	0859-35-1958
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

平成26年8月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)